

平成12年11月10日
原子力安全対策課
(1 2 - 7 0)
<11時資料配布>

大飯発電所4号機の第6回定期検査開始について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所4号機（加圧水型軽水炉；定格出力118.0万kW）は、11月14日から約3カ月の予定で第6回定期検査を実施する。

定期検査を実施する主な設備は次のとおりである。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タービンおよび蒸気タービン付属設備

1. 主要工事等

(1) 1次冷却材ポンプ供用期間中検査 (図－1 参照)

1次冷却材ポンプの供用期間中検査として、4台あるポンプのうち、Cポンプについて、主フランジボルト、締め付け部等耐圧部の健全性を確認するとともに、分解検査としてインペラ等の内部部品について点検する。

(2) 原子炉容器供用期間中検査

原子炉容器の供用期間中検査として、原子炉容器の溶接部等について、超音波による探傷検査を行い、健全性を確認する。

2. 燃料取替計画

燃料集合体全数193体のうち、96体（うち80体は新燃料集合体で新燃料は全て高燃焼度燃料）を取り替える予定である。

なお、大飯4号機では、現在、高燃焼度燃料8体（55,000MWd/t）の先行照射中（平成9年3月～平成13年度予定）であるが、今回の定期検査で2体を取り出し、発電所の使用済燃料ピットにて、燃料棒被覆管表面の酸化被膜量等の測定を行う予定である。

3. 運転再開予定

原子炉起動・臨界	:	平成13年1月下旬
発電再開（調整運転開始）	:	平成13年1月下旬
定期検査終了（営業運転再開）	:	平成13年2月中旬

4. 敦賀発電所2号機事故を踏まえた点検 (図－2 参照)

<検査の充実>

・高サイクル熱疲労割れの点検

過去の高サイクル熱疲労による国内外の損傷事例を踏まえ、高温・低温水の合流により温度変動が生じる類似対象箇所（43箇所）について、点検を実施する。

・格納容器内第3種管の検査の充実

設備の健全性に係る検査充実の観点から、格納容器内でプラント運転中に第1種管と同等の温度、圧力の1次冷却水が流れている再生熱交換器から化学体積制御系抽出系統および充てん系統の主冷却材管までの範囲にある第3種管の溶接部6箇所について、超音波探傷検査を実施する。

図 - 1 1次冷却材ポンプ構造図

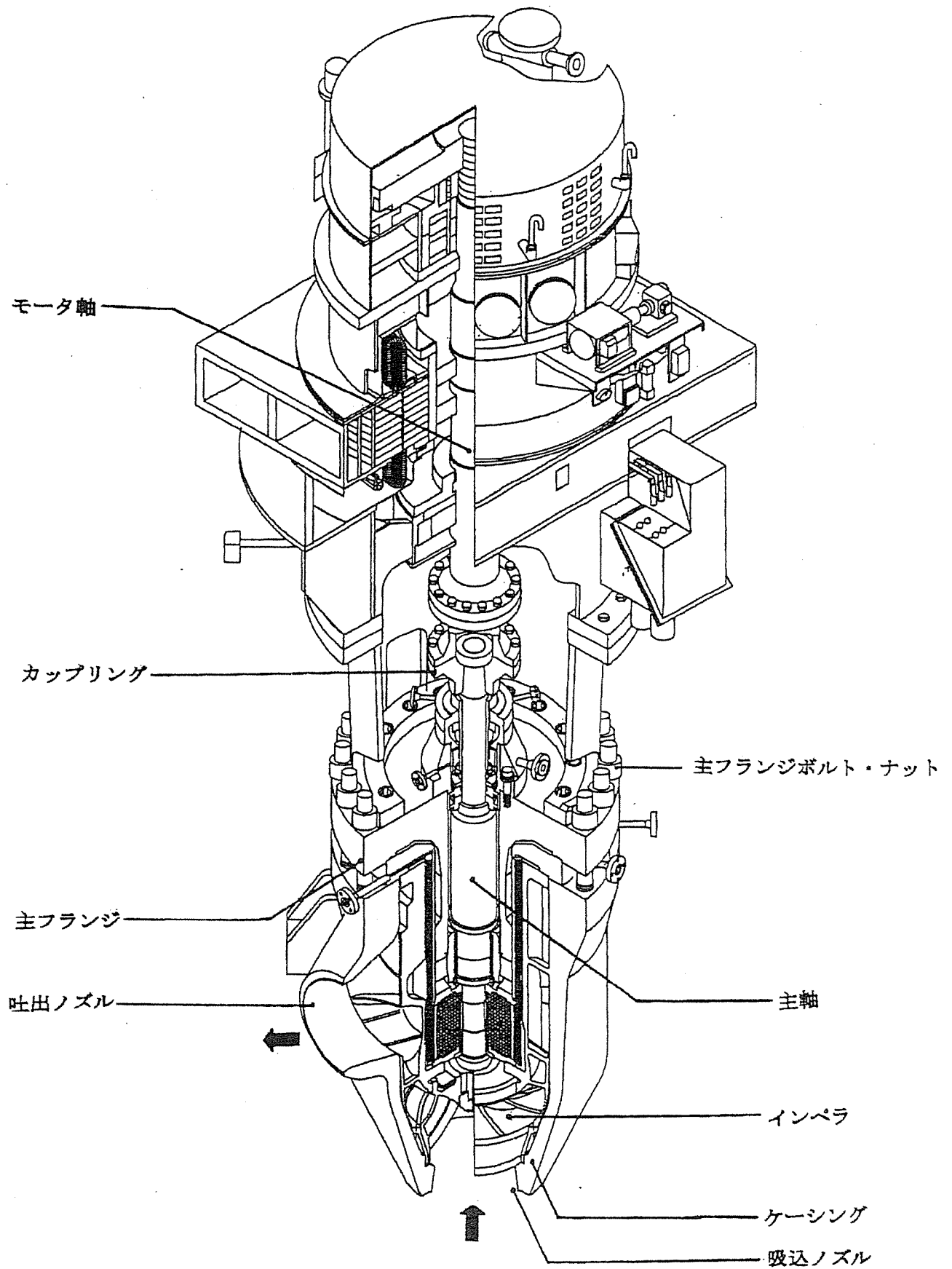
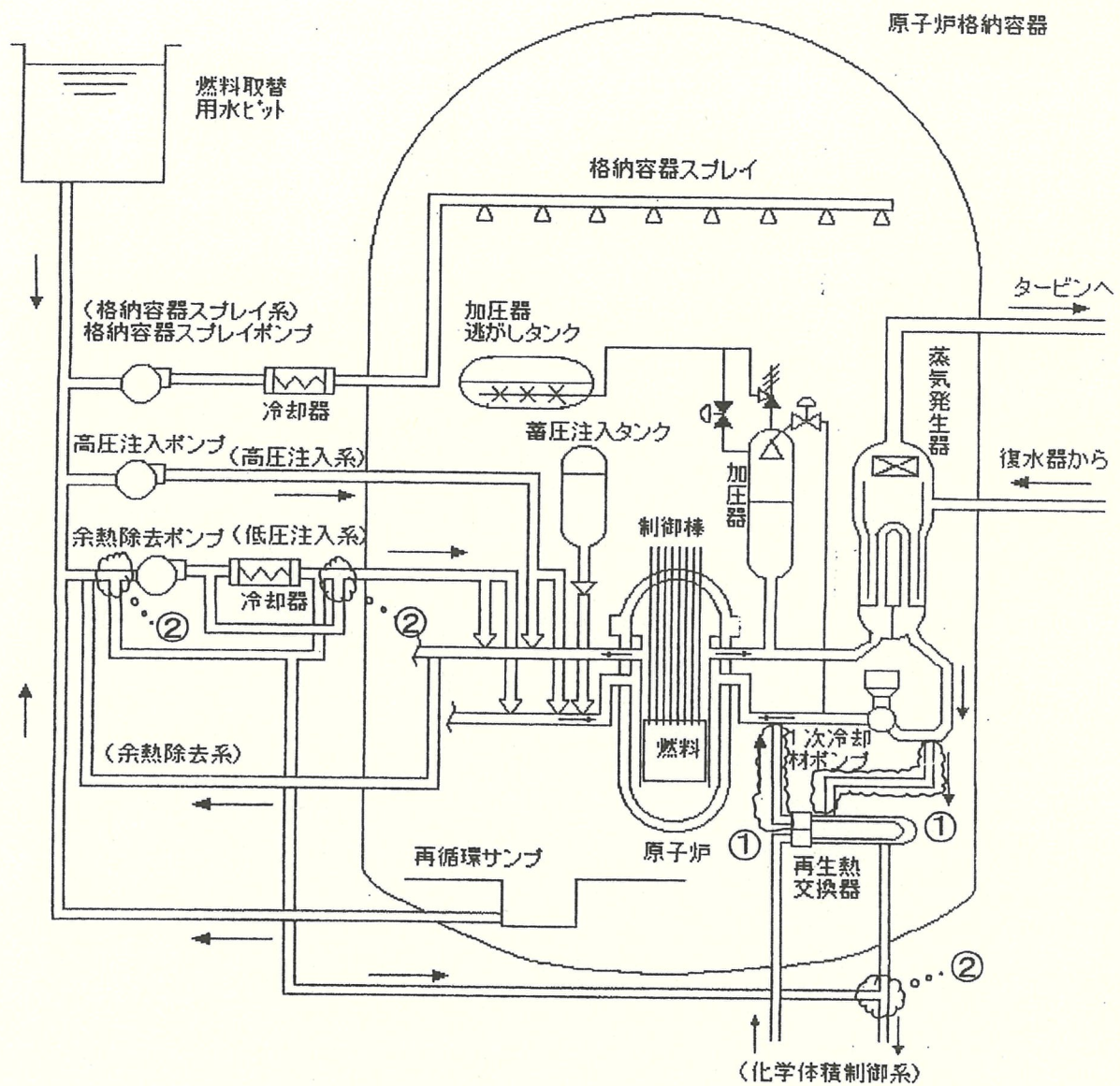


図-2 敦賀2号機 再生熱交換器連絡管からの一次冷却材漏えいに関する再発防止対策

(大飯4号機)



- ① プラント運転中に第1種管と同等の温度、圧力の一次冷却材が流れる再生熱交換器と原子炉冷却材系統間の配管のつぎ合わせ溶接部についての超音波探傷検査(6箇所)
- ② 海外プラントで発生した熱疲労事象の反映として実施する類似箇所(溶接線と母材)の超音波探傷検査(43箇所)

大飯発電所4号機の第6回定期検査に関する補足説明資料

- ・出力降下開始、発電停止（定期検査開始）の予定時刻

出力降下開始 : 11月13日17時45分頃

発電停止 : 14日0時頃